

55歳でめざした社会福祉士

北村 弘之

高齢者・障害者対象に事業展開

私は現在 60 歳で、社会福祉士個人事務所として「成年後見人の受任」、また、株式会社よこはま社会福祉士事務所の代表として、「クライアント企業の従業員ソーシャルサポート(生活相談)」、「企業・法人団体向けのセミナー講師(主にセカンドライフセミナー等)」、また、「高齢者と障害者向けの旅・外出支援サービス業(旅行業)」を行っています。

これらの事業共通の対象は高齢者と障害者で、「一人は万人のために、万人は一人のため」をモットーに事業を推進しています。

私の定年までの会社員人生

上述した現在の生業は、私が若いときからのものではなく、人生の年輪を重ねていく段階で徐々に醸成されてきたものでした。55 歳まで民間企業 3 社に通算 33 年間勤め、それなりの社会経験を積むことができ、すばらしい時間を過ごすことができました。その間に仕事をとおして社会の仕組みを知り、また社内の人間関係、顧客との人間関係は自分を磨くうえでは大変貴重なものでした。まさに、「家族形成の時期であると同時に社会を知り、社会の一員となれた時期」でした。

1 社目では、企業の仕組みや、関係会社支援や海外勤務などを経験し、逆に家族の大切さを知りました。2 社目では、同業種・異業種問わず企業間の知り合いができたことが私の人生観の形成につながりました。3 社目では、顧客から民事裁判に訴えられるといった事業の厳しさを知りました。

私の定年後の青写真

しかし、3 社目で転機がやってきました。ちょうど、「55 歳選択定年制度」という企業内セミナーが開催されたのです。この2日間のセミナーに参加して、40 歳前半からばく然として考えていた私の「定年後の青写真」がはっきりしたのです。

その青写真とは、「一度しかない人生、自分のやってみたいことを実現したい」と考えたのです。このような青写真がばく然と見え始めるまでの約 10 年間、自分の特徴や将来の想いは何かとつねに考え続けてきました。その過程では、父母、そして義父母の病気や介護等もありました。また部下の退職や病気などもありました。結果的に、私の持っているものは「人へのお世話好き」「探究心」であることがわかったのです。そして、高齢者を対象にした仕事をしたいと思ったのです。「こども叱るな、いつか来た道。年寄り笑うな、いつか

行く道」の心境です。

これまでの異業種や同業種交流のなかで、転身する多くの先輩たちを目のあたりにし、その人生談義を聴く機会も結構ありました。その顔には、仕事の大変さをのりこえた満足感があふれていました。そのなかの1人に、サラリーマンから社会福祉士になり、高齢者施設の造営を中心的にされた先輩がおられました。私もこのような高齢者関係の仕事をしたい、高齢者に関係するさまざまな勉強をし、「社会福祉士」になりたいと思い立ち、33年間の会社員生活にピリオドを打ち、1年課程の社会福祉士養成専門学校で、勉学に励むことにしたのでした。

久しぶりの勉強は大きな刺激に

久しぶりの勉強は、私にとって大変な刺激になりました。社会福祉士受験資格に必須の19科目という多面的な勉強は、朝夜の生活を一変させました。この歳で「通学定期」で学校に通うということに気恥しさを感じた面もありましたが、それよりも現役クラスの自分が日中にネクタイなしで街中を歩いていることに後ろめたさも感じました。しかしそれも徐々に慣れていきました。いずれはくる定年後の姿が早く来たと思うことにしたのでした。

学校は9時から16時迄の授業の日が多く、平日は自宅に帰ってからも復習に追われる日が続きました。何せ、55歳での勉強です。

授業で聞いたことは絶えずノートしました。福祉関係の言葉に慣れないうえに、福祉の歴史や医療、民法など覚えることが多く、授業で習ったことは夜復習しないことには授業についていけませんでした。

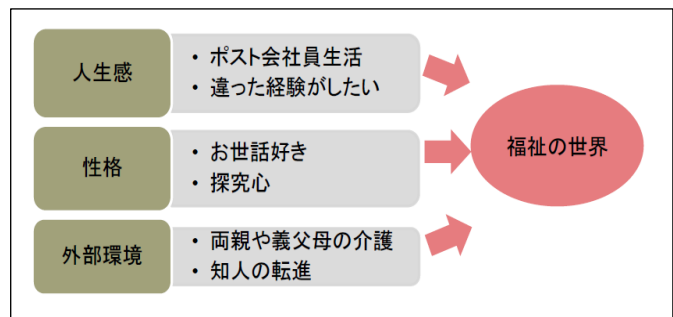
実習先は、社会福祉協議会や児童施設な

どいろいろありましたが、高齢者向けの仕事を希望していましたので、夏と翌春の実習先は自宅の近くの特別養護老人ホームを選びました。実習では、実習指導者の社会福祉士の先輩に付いて指導を受けましたが、その多くは「利用者との接し方」「記録」の残し方でした。今思えば、それらは対人関係の基本ですので大変収穫の多いものでしたが、毎日の実習報告書が手書きであったため、まちがうたびに修正液を使って修正するなど、とても苦労しました。

学校生活での後半は試験対策に追われ、その不安をうち消すため、週末も必死で勉強することになりました。そのようななか、試験後の仕事のことも考えるようになり、諸先輩や学校の先生にも相談しました。

養成校での学生の多くは、福祉関係の経験者であり、私のような民間企業出身者はごくわずかでした。そのため、授業の進め方や、内容には違和感を覚えることもありました。

一番のちがいは、なぜ福祉の世界では儲けてはい



民間企業	福祉社会
儲けることが一番	儲けることはご法度
スピードが求められる	スピードよりも丁寧さ
合理的、効率的	非効率的
企業文化	人間文化、生活文化、地域文化
男性優位(数、上位者が決める)	女性優位(数、皆で決める)
人件費より設備費の割合が高い	設備費より人件費の割合が高い

けないのかということでした。「儲ける」というと誤解を生みそうですが、現場で働く人の安定した生活を願い、また、福祉業界が日本の経済の牽引ともなれるのに軽視されていることです。

「一人は万人のために、万人は一人のために」

私の仕事のモットーは「一人は万人のために、万人は一人のために」です。人が生きていくためには食べ物や住まいも大切ですが、「支えあい」や「助け合い」があって初めて人間的な生活が成りたつと考えます。ですので、「相互扶助」をモットーに実践を通して活動しています。社会福祉士という士業名を会社名で利用させてもらっていますが、これは信頼のための看板であり、仕事を円滑に遂行するためです。

社会福祉士の立場から思うこと

私がお客様の相談に乗り、支援する際に心がけていることは、自分のできる限界を知り、できない部分は他の専門職(例えば、司法書士、行政書士、ケアマネジャー等)に依頼することです。ただ依頼するのではなく、クライアントであるお客様の生活歴や体調等を把握し、その内容を「文書化」したうえで、専門職と「面談」して相談するようにしています。結構大変ですが、1人ひとりの事情は違いますのでいねいに対応するようにしています。

残念ながら、同僚(社会福祉士)を見ていますと、他の専門職との付き合いが狭く、その専門性を把握していないため、相談の支援が届かない状況におちいっているように思われます。われわれの職種は、他の専門職につなげるという役割であるにも関わらず、勇気をもって他の専門職等に相談していないのが実態です。これは、職場での指導体制も原因かも知れません。複数のケースワーカーやメディカルソーシャルワーカーが職場にいれば、情報交換をしたり、相互支援ができるかもしれませんが、いかんせん社会福祉士が1人だけの職場では、職場全体の雰囲気の影響されて、社会福祉士といっても一般職と同じような存在になっていることもあるかと思えます。

また、弁護士や税理士等の専門職団体と比べ、社会福祉士は組織として”一体感”が少ないように思えます。弁護士や税理士等は個人事務所を開設している場合が多いことにも一因があるでしょう。

よく、社会福祉士には「実践力」が足りないという指摘を聞きますが、独立し、それを生業として仕事をしている人が少ないことも影響しているのではないのでしょうか。社会福祉士は専門職として行政機関や社会福祉法人に採用されていますが、そこでは知識はあっても、それを活用して利用者や家族に手を差し伸べるためには組織の中に限界があるのかもしれない。独立して生業として仕事をすることで、実践力ある社会福祉士が育成されていくのではないのでしょうか。

最後に、私が実践しています「ソーシャルサポートサービス」を紹介させていただきます。(きたむらひろゆき/社会福祉士/株よこはま社会福祉士事務所)

月刊 「ゆたかなくらし」 2014/9月号 本の泉社発行

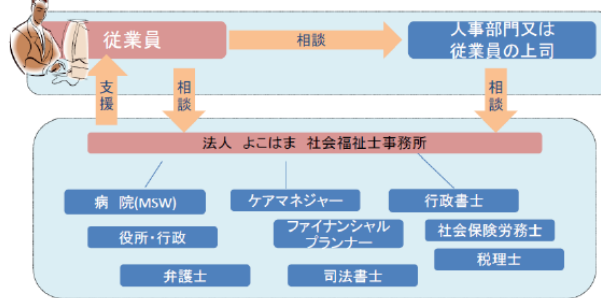
事業紹介 ①ソーシャルサポートサービス

1. 最近、親の物忘れが多くなり認知症ではないかと心配している。どうしたらよいかわからない
2. 親の介護が大変で介護施設を探したいが、いろいろな種類があってわからない
3. 親族の扶養や相続問題が発生しており、解決手段を教えてください
4. 自分の定年後の暮らしができるか、生命保険等を見直したい
5. 親の遺産相続の件で相談したい
6. 入院・手術で高額な医療費の請求がありそうだ

□企業にとって

- 優秀な人材を家庭の事情で辞めさせなくてもよい環境作り

□ ソーシャルサポートサービスのイメージ図



月刊

高齢者福祉がわかる専門誌

ゆたかな暮らし

2014 / 9

No.388

2014年9月1日発行 388号 毎月1日発行



特集

社会福祉士制度はこのままでよいのか ——その社会的使命と方向性を考える

- 社会福祉士制度の現状と課題
——その職域と養成課程をめぐって
津久井 康明
- 社会福祉士制度をめぐる動向と今日的課題
高木 博史
- 受験対策講師から見た
国家試験受験者の動向と課題
君和田 豊
- 55歳でめざした社会福祉士
北村 弘之
- 通信教育で社会福祉士
資格を取得してみよう
宗賀 喜人

フランスのエコな共生暮らし ⑩
自然と共生をめざす都会
～ミツバチを飼う

天羽 みどり